

運営規定（競技上の注意）

- 1 本選考会は令和6年度（公財）日本バドミントン協会競技規則及び公認審判員規程に準じ、本選考会運営規程（競技上の注意）により行う。
- 2 得点について 全試合正式ルール（※参加人数によって変更あり）
- 3 試合形式 トーナメント形式またはリーグ戦形式で行う。
- 4 進行について
 - (1) 流し込みで行う。選手は線審と得点係を連れてくるようにする。
 - (2) 試合終了後は、敗者審判となる。敗者は本部に審判用紙と使用したシャトルを持ってくる。
- 5 サイド ベンチ入りは、選手・引率者（各チーム2名まで）とする。
- 6 ゲーム中（インプレー以外時）のアドバイスについて
 - (1) アドバイスはコーチングシートからのみとする。
 - (2) 試合の遅延行為にならないように、また選手が萎縮するようなアドバイスであってはならない。
- 7 インターバル
 - (1) 各ゲーム間で120秒を超えないインターバルを認める。
 - (2) 第3ゲームの場合、どちらかが11点目をとった時にチェンジエンド後に60秒とれる。
 - (3) 連続試合になる場合は、10分間のインターバルをとることとする。
- 8 シャトル
 - (1) シャトルは、本部で渡されたシャトルを使用する。
 - (2) シャトルを渡されたら、試し打ちはなしで、すぐに試合を開始する。
- 9 水分補給等
競技中の汗拭き、水分の補給については、主審の許可を得て行いゲームの中断にならないようにする。
水分補給用容器はスクイズボトル(ワンタッチ式水筒)を使用する。(かごは設置しないが、フロアへの直置きをしないようにする。)
- 10 試合態度
 - (1) プレーを故意に遅らせたり中断したりすることをしてはならない。
 - (2) 見苦しい服装、無礼な態度や言動、耳障りな掛け声や叫び声などもしてはならない。
 - (3) 審判に対しての質問は認められるが、抗議はできない。質問できるのは当該選手のみとする。
※(1)～(3)の行為がある場合、警告後フォルトをとる。
 - (4) タオル生地のリストバンドは認めるが汗止めのアンダーラップやネックレス・ブレスレッド・医療用でないサポーターなどは認めない。
- 11 その他
 - (1) 使用ウェア（インナーウェアも含む）は、（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。
 - (2) 病気やけがが発生した場合、応急処置を認める。但し、5分後に試合続行の不可の確認を審判が行う。ゲーム続行の場合は、遅延行為にならないように速やかにゲームを再開する。
 - (3) 写真・ビデオ撮影について
 - ①会場のコンセントの使用はしない。フラッシュを用いての撮影は禁止とする。
 - ②試合の様子を保護者や関係者が記録撮影することは構わないが、公的な場所やウェブサイト上で上映や公開をする場合には肖像権の関係上、映っている選手と保護者の同意を得ること。